

「杜の都環境プラン」 定量目標の進捗状況等（平成 27 年度実績）について

「杜の都環境プラン」（計画期間 平成 23 年度～32 年度）に定める定量目標 10 項目の達成に向けた平成 27 年度の進捗状況は下記のとおりである。

なお、平成 27 年度に中間評価を実施し、震災などの社会経済情勢の変化に対応するため一部目標（①～④）を見直したことから、見直し後の目標とそれに対する状況を記載している。

平成 27 年度（または直近）の状況

施策体系	定量目標	平成 27 年度（または直近）の状況	進捗
低炭素都市づくり	① 平成 32 年度（2020 年度）における温室効果ガス排出量を平成 22 年度（2010 年度）比で 0.8%以上削減します。 目標値：7,640 千 t-CO ₂ 以下	8,537 千 t-CO ₂ (平成 25 年度) ^{※1}	×
資源循環都市づくり	② 平成 32 年度（2020 年度）におけるごみの総量を 360,000t 以下とします。	381,036t (平成 27 年度)	×
	③ 平成 32 年度（2020 年度）におけるリサイクル率を 35% 以上とします。	29.7% (平成 27 年度)	×
	④ 平成 32 年度（2020 年度）における燃やすごみの量を 305,000t 以下とします。	329,294 t (平成 27 年度)	×
自然共生都市づくり	⑤ 平成 32 年度（2020 年度）におけるみどりの総量（指標：緑被率）について、現在の水準を維持・向上させます。 基準値：78.8%（平成 21 年度）	79.3% (平成 26 年度)	○
	⑥ 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます。	オオタカ及びサシバについては、生息適地の減少が見られる（平成 26 年度）	×
	⑦ 身近な生き物の市民の認識度を現在よりも向上させます。 基準値：448.4%【9 種合計 900%中の値】（平成 22 年度）	386.4% (平成 27 年度)	×
快適環境都市づくり	⑧ 大気や水、土壌などに関する環境基準（二酸化窒素についてはゾーン下限値）について、非達成の場合にはできる限り速やかに達成し、達成している場合にはより良好な状態に保持します。	大気汚染・水質汚濁・騒音に係る基準について一部非達成（平成 27 年度）	△
	⑨ 平成 32 年度（2020 年度）における市民の「環境に関する満足度」について、「満足している」と回答する人の割合を現在よりも向上させます。 基準値：223.8%【9 項目合計 900%中の値】（平成 20 年度） ^{※2}	229.6% (平成 27 年度)	○
良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり	⑩ 平成 32 年度（2020 年度）における、日常生活における環境配慮行動について、「常にしている」と回答する人の割合を現在よりも向上させます。 基準値：926.7%【25 項目合計 2,500%中の値】（平成 20 年度） ^{※3}	945.3% (平成 27 年度)	○

（注）目標に係る現状値については、①毎年度把握するものと、②数年ごとあるいは計画年の中間評価等のタイミングで把握するものがあります。No 5, 6, 7, 9, 10 が②に該当します。

※1 温室効果ガス排出量は、国・県・業界団体等が公表する各種統計データにより推計するものですが、データが揃うまでに 2 年程度の時間を要することから、現時点での直近の確定値は平成 25 年度分となります。

※2 「まちの清潔さ・ごみの少なさ」や「歴史的・文化的な雰囲気」など 9 項目に関して「満足している」と回答した人の割合の合計値を記載しています。

※3 「家具などは修理して、長く使う」や「駐車の際はエンジンをかけっぱなしにしない」など 25 項目に関して「常にしている」と回答した人の実践度の合計値を記載しています。

進捗 ○：良好であるもの △：一部遅れているもの ×：遅れているもの